



泌尿器科紀要

第 14 卷 第 8 号

1968年8月

理想 哺乳類精子の物質代謝..... 吉田 重雄...549
 上部尿路瘻術後の経過と管理..... 小田 完五・井上 進・東 登伎雄・藤村 伸・小野 利彦・村田 庄平・村上 剛...551
 Myoglobin 尿について..... 友吉 唯夫・ポールC. ハヂンス...560
 腎杯憩室内 Milk of Calcium Stone の1例..... 広中 弘・酒徳治三郎・桐山 啓夫・福田 和男...571
 腎動脈血栓および腎結核を伴った腎性高血圧の1例... 柏木 崇・田尻葵矩夫・桐山 啓夫...576
 尿管静脈瘤の1例..... 井上彦八郎・三瀬 徹・宮川 光生・高橋 香司...581
 尿路感染症に対する SP-125 (Dicloxacillin) の使用経験..... 井上彦八郎・三瀬 徹・宮川 光生・高橋 香司...590
 尿管運動における Acabel (CG-201) の影響と遊走腎に起因すると思われる疼痛に対する本剤の使用経験..... 村田 仁・大橋 秀世...594
 ウロカルン (UROCALUN) による尿石症の治療経験..... 多田 茂・大串 典雅・川井 忠・森 脩...600
 尿路結石症に対するコリンホルの鎮痛および排石促進効果について..... 菅井 昂夫・木村 哲・新村 研二...605
 泌尿器科領域における新静脈麻酔剤エポントールの使用経験..... 金沢 稔・阿部 富弥・稲垣 脩・中村 順・的場 昭三...619
 前立腺肥大症に対するアミノ酸治療..... 志賀 弘司・熊木 栄一・今村 全...625
 前立腺疾患に対する P・P・C の試用経験..... 山内秀一郎・開田 峯吉・辻 広...633
 編集後記・購読要項・投稿内規..... 638

寄贈

CONTENTS

Editorial: Metabolism of Mammalian Sperm S. Yoshida...549
 Late Result and Aftercare of External Diversion of Upper Urinary Tract K. Oda, S. Inoue, T. Higashi, S. Fujimura, T. Ono, S. Murata and T. Murakami...551
 On Myoglobinuria T. Tomoyoshi and P. C. Hudgins...560
 Milk of Calcium Renal Stone in a Calyceal Diverticulum: Report of A Case and Review of the Literature H. Hironaka, J. Sakatoku, T. Kiriyaama and K. Fukuda...571
 A Case of Penal Artery Thrombosis and Tuberculous Contracted Kidney with Hypertension..... T. Kashiwagi, K. Tajiri and T. Kiriyaama...576
 Varicosis of the Ureter: Report of A Case H. Inoue, T. Misse, M. Miyagawa and K. Takahashi...581
 Dicloxacillin (SP-125) for Urinary Tract Infections H. Inoue, T. Misse, M. Miyagawa and K. Takahashi...590
 The Effect of Acabel (CG-201) on the Ureteral Movement and its Clinical Use for Pain due to Renal Ptosis M. Murata and H. Ohashi...594
 Treatment of Urolithiasis with Urocalun S. Tada, N. Ohgushi, T. Kawai and O. Mori...600
 Effects of Methixene Hydrochloride on the Urinary Tract Calculi: Effects as Analgesic and on Spontaneous Passages of Stones T. Sugai, S. Kimura and K. Niimura...605
 Clinical Use of a New Ultra-Short-Acting Intravenous Anaesthetic "EPONTOL" in the Field of Urology M. Kanazawa, T. Abe, S. Inagaki, J. Nakamura and S. Matoba...619
 Amino Acids Therapy for Hypertrophy of the Prostate K. Shiga, E. Kumaki and A. Imamura...625
 Experimental Application of P. P. C. for Prostatic Disease S. Yamauchi, M. Hirakida and H. Tsuji...633

禁帯出

泌尿紀要

京都大学医学部泌尿器科学教室

Department of Urology, Faculty of Medicine,

Kyoto University, Kyoto, Japan

Editor: Prof. Tokuji KATO

到着後1ヶ月間

編集後記

本夏は不測の迷走台風、豪雨等の訪れがあって暑さのペースが乱れ、未だに残暑も酷しい昨今である。ひぐらしの声も一頃より少なくなったがそれでも洛中の真昼にはそこそこなお緑陰があり、夕暮になれば加茂の河原にそよ風がふき、都大路の夏は暑いとはいえないのんびりしている。毎年のことながら安向きに銷夏法は別に山野に涼を求めずとも心頭を滅却すれば火も自ら涼しである。

本誌の巻頭を飾る随想はいつも苦の種で諸方面の大家に依頼しているが学者の世界も学会、研究、学内問題等でこの頃は甚だ多忙らしく思うように原稿が頂戴できない。何はともあれわれわれの領域に対し何かを教えられ、よきヒントを与えて下さる随想を日頃から常に期待している。

本号では畜産学の新鋭吉田博士を煩わして広く哺乳類精子の物質代謝の世界を伺うこととした。

購読要項

1. 発行は毎月（年12回）とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料1,800円（送料共）を前納していただきます。
分売は1冊150円（送料別）。払込みは振替口座番号 京都 4772番 泌尿器科紀要編集部、あるいは第一銀行百万遍支店宛。
3. 入会は氏名（フリガナ）、住所（雑誌郵送先）、勤務先、振替または銀行払の別を御記入の上編集部あて、はがきにてお申し込み下さい。
4. 新規入会の方には最初の1年購読料1,000円の特典を設けます。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいて下さい。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。御希望の場合は当編集部にて翻訳しますので、抄録用の和文原稿を別に作成して下さい。翻訳の実費は申し受けます。
4. 英文原稿の場合はタイプライターを使用して2行の間隔をあげ、和文表題と和文抄録をつけて下さい。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, pH などを使用し、は不要です。また BUN IVP NPN PSP TUR なども、を要しません。
6. 表、図、写真等はすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等として下さい。
7. 文献の書式は次のようにして下さい。
 - A 雑誌の場合 著者名：誌名、巻数：頁数、西暦年次。（論文題名は自由です）
例 1) 中野：泌尿紀要, 1: 110, 1955.
2) Lazarus, J. A. : J. Urol., 45: 527, 1941.
文献名は正式略称を用いて下さい。例：日泌尿会誌、臨床皮泌、皮と泌、泌尿紀要、臨泌；J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等
 - B 単行本の場合 著者氏名：書名、版数、Vol. 数、p. 数、発行所、出版地、年次。
例 1) 加藤篤二：日本泌尿器科全書。Vol. 5, p. 175, 金原出版&南江堂、東京、1960。
2) Dean, A. L. & Dean, A. L., Jr. : Urology edit. by M. F. Campbell. 2nd edit., p. 1229, W. B. Saunders Co., Philadelphia, 1963.
8. 掲載料の著者負担は4頁まで毎頁600円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真、英文組版等は実費を申し受けます。別冊20部は無料、それ以上は実費をいただきます。あらかじめ希望部数を申し込んで下さい。特別掲載も考慮します。
9. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみが行ないます。
10. 原稿は最終的に返却致しません。
11. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付けは致しません。
12. 原稿送り先は、606 京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部宛、書留便。

泌尿器科紀要 第14巻 第8号 昭和43年8月25日 印刷 昭和43年8月31日 発行
定価150円（送料別）

編集発行人 加藤 篤 二 顧問 稲田 務 発行所 泌尿器科紀要編集部
606 京都市左京区聖護院川原町 京都大学医学部泌尿器科学教室 電話771-8111 学内5806
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入